第3章

基本構想

まちづくりのミッション

30年後の「まちの持続」

「このまちに住み続けたい」
「このまちに住みたい」と思える
「魅力あるまち」であり続ける

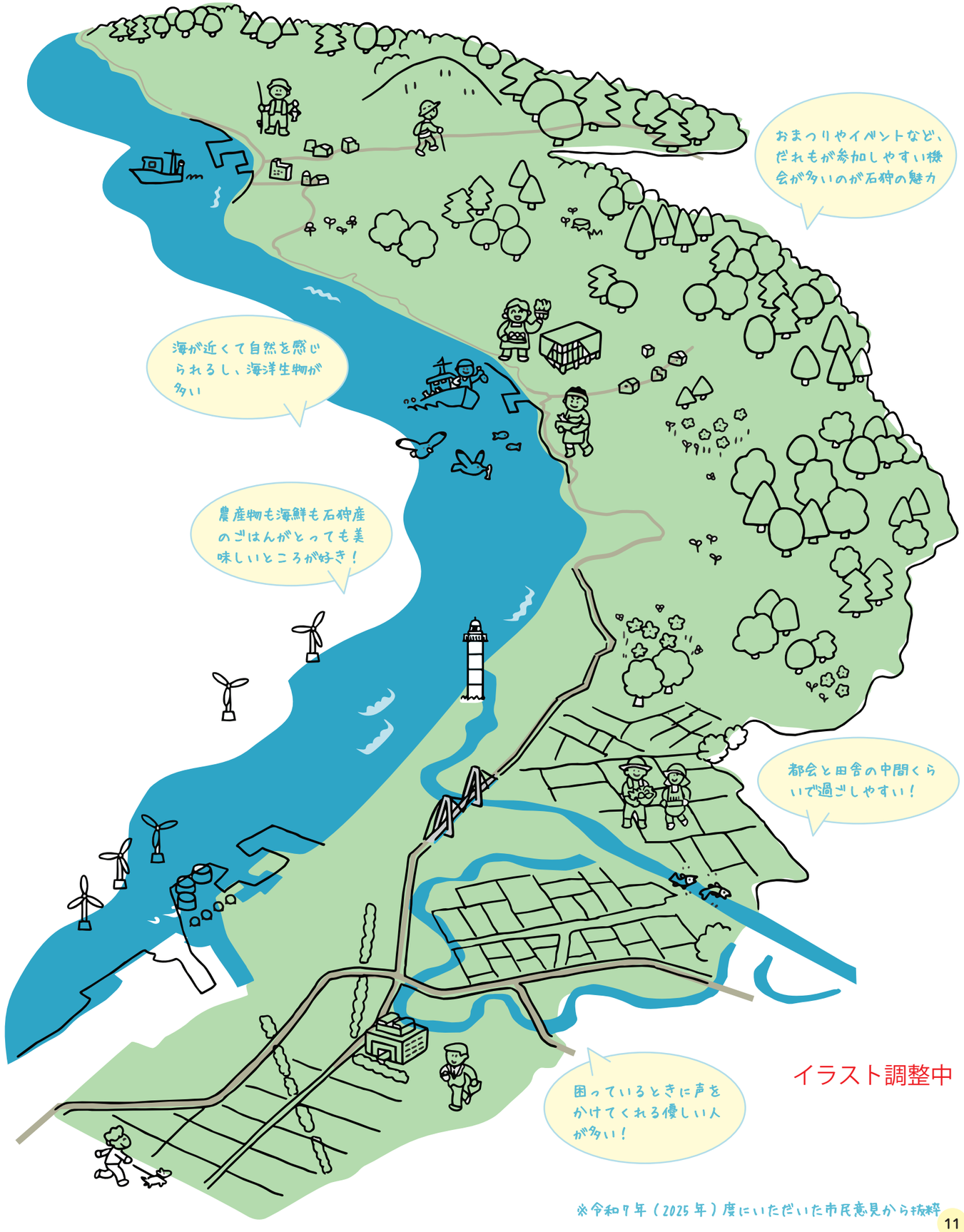
人口減少・超高齢社会が本格的に到来し、全国的に地域経済の衰退やコミュニティの希薄化、生活サービスの縮小などが懸念され、各自治体では存続に向けた対策が急務となっています。

本市においても同様の課題に直面しており、人口流出を抑え、活気あるまちを維持するためには、石狩市に暮らす市民が「これからも住み続けたい」、石狩市に住んでいない人が「住みたい」と思えるような「魅力あるまち」であり続けることが不可欠です。

こうした背景から、30年後の「まちの持続」を見据えた「まちづくりのミッション」は「石狩市」の使命となるものです。

このミッションを達成するには、単に人口を維持するだけではなく、まちの賑わいや人と人とのつながり、経済的な豊かさ、豊かな自然などが調和した、安心して暮らせる「生活の礎」を築くことが必要です。

そのうえで、市民が「石狩市」に対する誇りや愛情を持ってまちづくりに深くかかわり、市民一人ひとりが生きがいを持って輝ける環境をつくりあげることで、行政と市民が一体となり、この厳しい社会情勢を乗り越えていきます。



イラスト調整中

※令和7年（2025年）度にいただいた市民意見から抜粋

目指すまちの将来像

まちづくりのミッションの達成に向けて、目指すまちの将来像として「都市像」と「市民像」を掲げます。

都市像

創造

交流を広げ、文化を育み、新たな価値を創造するまち

地域内の交流を広げ、いしかりの歴史・文化を脈々と引き継ぐとともに、次々と新たな価値を創造するまちを目指します。

絆

絆や人のつながりを大切にするまち

いしかりで暮らす多様な人が、お互いに支え合い、みんなが安心して幸せに暮らすことができる絆や人のつながりがあるまちを目指します。

環境

幸せに暮らす環境を育むまち

地域資源を活かし、産業や自然、子育て、教育、福祉など、豊かな暮らしを支える環境を育むまちを目指します。

都市が生み出す、安心して暮らせる生活の礎は、市民がまちへの愛着と誇りを育むための礎となります。この礎をさらに強固なものへと育てあげ、市民一人ひとりが躍動した暮らしを送ることができるように「創造・絆・環境」の３つを柱とする「都市像」を掲げます。

市民像

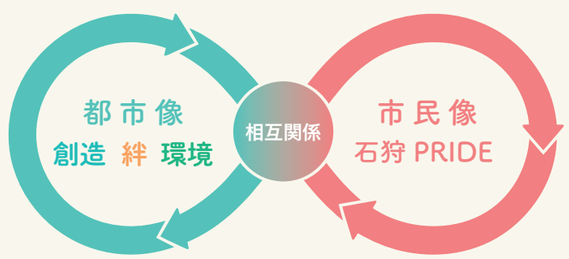
石狩PRIDE

いしかりへの愛着、誇り、
そしてこの地での幸せな暮らし

安心して暮らせる生活の礎のもと、市民と行政が協働でまちづくりを進めていくことで、市民が「いしかり」の魅力に気づき、「いしかりは私の自慢のまち！」「いしかりイイネ！」など、「いしかりに対する愛着や誇り（石狩 PRIDE）」を醸成します。そして、その想いを胸に、市民一人ひとりがまちの主役として生き生きと躍動し、幸せに暮らす姿を「市民像」に掲げます。

都市像と市民像の相互関係

都市がもたらす「安心して暮らせる生活の礎」があることで、市民のまちに対する愛着や誇りが育まれます。また、その想いが深まることで、市民が主体的にまちづくりに参画し、交流の広がりや新たな価値の創造、絆や人のつながり、豊かな暮らしを支える環境づくりにつながっていきます。
そのため、都市像と市民像は密接な相互関係にあります。この２つの将来像が相乗効果を生み出すことで、まちづくりのミッションである「『このまちに住み続けたい』『このまちに住みたい』と思える『魅力あるまち』」の達成に向けて、総合計画という羅針盤に沿って、市民と共にまちづくりの歩みを進めていきます。



基本構想の達成に向けて

個別計画等に基づく様々な事業を「サケ」とし、これらの事業と基本構想の達成に向けた関係性を「サケの遡上」に見立てて表現しています。個別計画等に基づく事業は、それぞれの計画が定める目標・目的に向かっていきます。そして、そこから分野横断的な６つの「戦略目標」のうち、該当する目標に沿って進めていくことで、目指す将来像である「都市像・市民像」に実現につながり、最終的に「まちづくりのミッション」の達成につながっていきます。

基本構想

30年先を見据えたまちづくりのミッションと目指すべきまちの将来像

6つの戦略目標

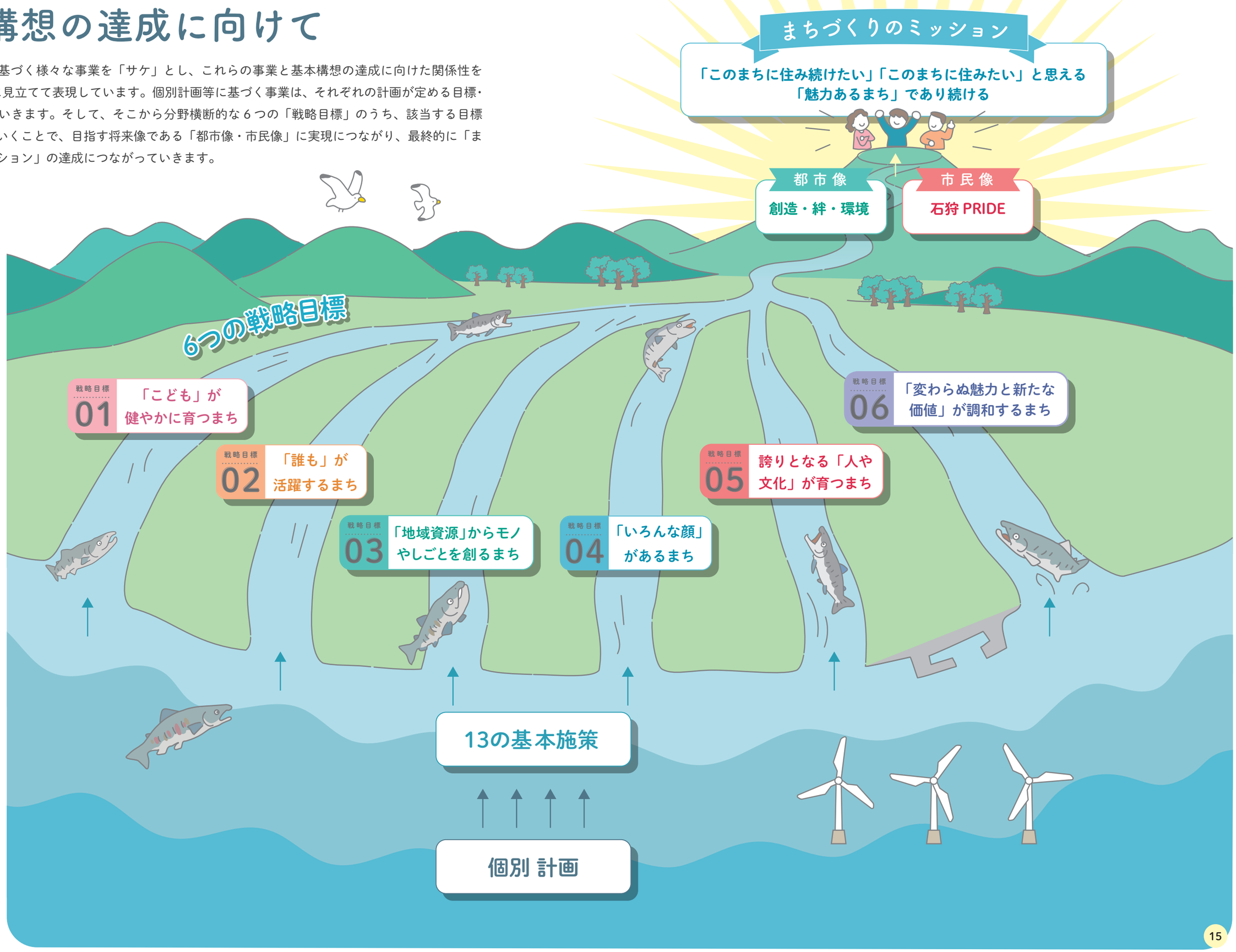
計画期間中に特に重点的に取り組む、分野横断的な目標

13の基本施策

13の分野に分けた市が進める大きな方向性

個別計画

それぞれの分野に関連する数値目標や具体的な施策



第4章

基本計画

戦略目標

戦略目標は、まちづくりのミッションの達成と目指すまちの将来像（都市像・市民像）の実現に向けて、計画期間内に特に重点的に取り組む、分野横断的な目標です。

戦略目標は６つ設けており、そこから更に３つの「ねらい」に細分化しています。

戦略目標 01 「こども」が健やかに育つまち

ねらい１ こどもが主役となり、躍動するまち
ねらい２ 地域が一体となり、子育てを支えるまち
ねらい３ 充実した教育環境のもと、こども自らが学び育つまち

戦略目標 02 「誰も」が活躍するまち

ねらい１ 若者が活躍し、多世代が集う活気あふれるまち
ねらい２ 高齢者の経験と知識が活きるまち
ねらい３ 多様な個性を認め合い、共に活躍するまち

戦略目標 03 「地域資源」からモノやしごとを創るまち

ねらい１ 石狩湾新港を核とした、次世代産業を推進するまち
ねらい２ いしかりを支える「地域産業」を守り育てるまち
ねらい３ 地域特性に応じた、個性豊かに輝き続けるまち

戦略目標 04 「いろんな顔」があるまち

ねらい１ 住みよい環境が整い、安心して暮らし続けられるまち
ねらい２ いしかりの魅力が拡がり、「住みたい」と選ばれるまち
ねらい３ 地域資源を磨き上げ、何度も訪れたい魅力があるまち

戦略目標 05 誇りとなる「人や文化」が育つまち

ねらい１ 生涯を通じて学び続けられるまち
ねらい２「いしかり」への郷土愛が育つまち
ねらい３ 自然の恵みを未来へつなぐまち

戦略目標 06 「変わらぬ魅力と新たな価値」が調和するまち

ねらい１ 将来を見据えた都市機能を備えたまち
ねらい２ 共に支え合う災害に強いまち
ねらい３「人や地域のつながり」を礎に、次世代の社会とサービスを創るまち

基本施策

基本施策は、13 の分野に分けた市が進める大きな方向性を示しており、戦略目標との関係性を意識しながら進めていきます。個別計画やそれに基づく事業は、この基本施策が示す方向に沿って展開します。

① こども・子育て

こどもの権利、子育て環境、子育て支援、こどもの発達支援

② 教育

学習支援、教育環境、ふるさと学習

③ 協働・共創・共同

市民参加、地域コミュニティ、共同参画社会

④ 福祉

地域共生社会、地域福祉、高齢者福祉、障がい者福祉

⑤ 健康・医療・スポーツ

健康増進、スポーツ、地域医療、社会保障制度

⑥ 商工業・港湾

中小企業、地域産業、石狩湾新港地域、雇用・労働環境

⑦ 農林水産業

農業、漁業、森づくり、食

⑧ 生活環境

防災・減災、交通事故・犯罪、地域公共交通、生活環境

⑨ シティプロモーション

プロモーション、観光、移住・定住、国際交流

⑩ 歴史・文化・生涯学習

歴史・文化、生涯学習

⑪ 環境

脱炭素社会、自然保護・生物多様性、循環型社会、環境学習

⑫ 都市基盤・都市環境

都市基盤、都市機能、上下水道、住環境

⑬ 行財政

財政、行政、広域連携、公民連携